

令和4年度 宇佐市在宅医療・介護連携多職種研修会 アンケート結果
 第2回 心不全連携研修会 令和5年1月18日開催

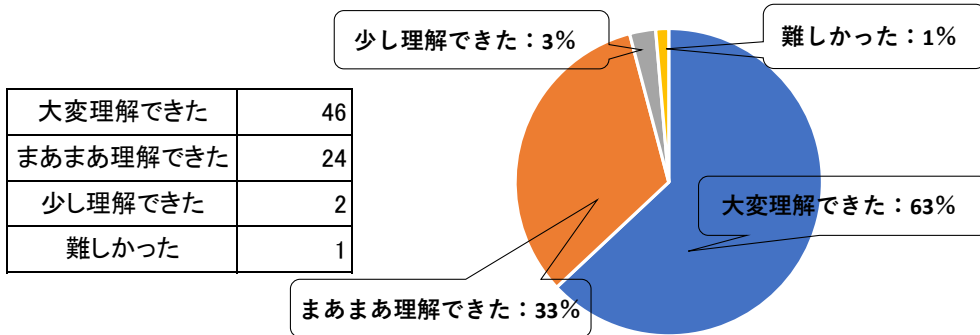
- 1,研修会申込者 115名（講師4名、事務局11名除く）
- 2,アンケート返却 73名
- 3,アンケート返却率 63%
- 4,アンケート結果

【問 1】あなたの職種を教えてください。

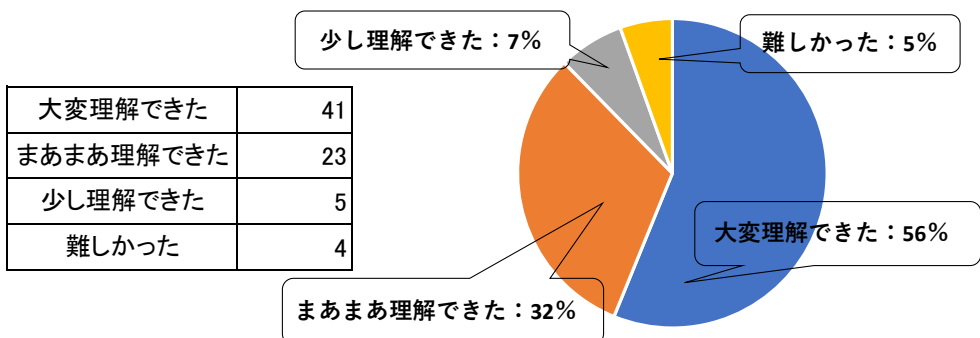
| | |
|------------------|----|
| 医師 | 4 |
| 歯科医師 | 1 |
| 薬剤師 | 6 |
| 保健師 | 3 |
| 看護師 | 15 |
| リハビリ専門職 | 6 |
| 訪問リハビリ専門職 | 2 |
| 管理栄養士・栄養士 | 7 |
| 医療ソーシャルワーカー(MSW) | 3 |
| 社会福祉士 | 6 |
| 介護支援専門員 | 6 |
| 福祉用具専門職 | 1 |
| 事務職 | 6 |
| その他 | 7 |
| 計 | 73 |

介護職：1
 介護福祉士：2
 社協：2
 認知症地域支援推進員：1
 認知症予防教室担当：1

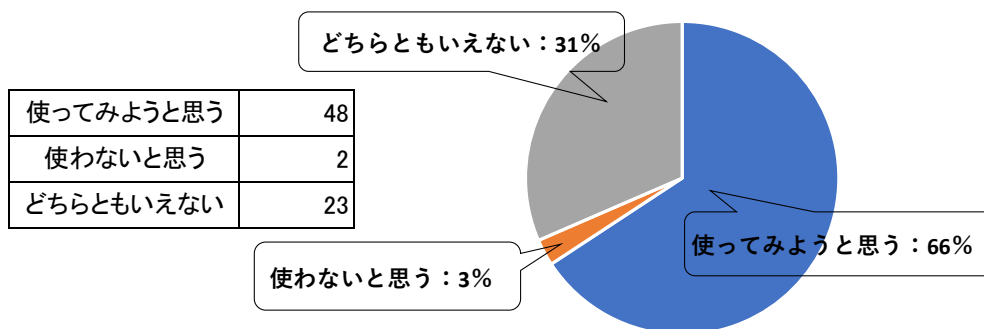
【問 2】心不全の方に対する栄養管理の重要性について理解できましたか。



【問 3】心不全ポイント「ハートノート・心不全ポイント自己管理用紙」の記録の仕方・予定外受診の理解は出来ましたか。



【問 4】 今後、あなたが対応されている患者さん(利用者さん)や今後対応するであろう患者さん(利用者さん)に心不全ポイント「ハートノート・心不全ポイント自己管理用紙」を使ってみようかと思いませんか。



【問 5】 今後取り上げて欲しい『研修会テーマ』をご記入ください。

- ・多職種連携について(医師、病院、施設、ケアマネなど連携の課題や事例含む)・・・5
- ・心不全について(病態、内服薬、内服管理、心不全チームの立ち上げなど)・・・4
- ・病態に応じた食事管理について・・・3
- ・認知症について(コロナ禍での支援、フレイル対策や予防など)・・・2
- ・在宅・施設での急変時の対応など(BLS)について・・・2
- ・糖尿病について・・・2
- ・慢性腎不全について・・・2
- ・肺炎について・・・2
- ・成年後見制度について・・・1
- ・高齢者の運動について・・・1

【問 6】 心不全患者のケアで困った事、多職種連携で困った事など、その他ご意見やご感想等ご自由にご記入ください。

《保健師》

- ・心不全患者さんに仕事上でかかわったことはないのですが、今後、関わるかたのなかで、心不全の既往のある方がいたときには、ハートノートの紹介ができるといいと思いました。その場合は、またご相談したいと思います。

《看護師》

- ・食事をテーマは分かりやすく勉強になった。制限は年齢に応じて指導しているなど参考にしていきたい。
- ・高齢者世帯での栄養管理について現場ではいつも悩む課題だと思っています。

《リハビリ専門職》

- ・カンファレンスが不定期

《管理栄養士・栄養士》

- ・高齢者のフレイル予防と心不全の悪化防止の食事を同時に進めていく難しさを日々感じています。その方にとってなにが重要なのかを見極めて方向性を考える必要があると感じました。

《医療ソーシャルワーカー(MSW)》

- ・入退院を繰り返す事 心不全の患者さまは、薬価が高い為、退院支援に難渋するケースがあります。

《社会福祉士》

- ・介護支援専門員として高齢者の支援をしていた時高血圧、糖尿病等の疾患の利用者の方はいたが、心不全患者としての視点でケアはしていなかった。今回の研修を通じて心不全ネットワークのことや心不全ポイント自己管理シートについて知ることができた。今後、医療・介護・在宅で連携を図ることでケアマネージャー等新たな視点で利用者との関わりが持てると感じた。

《介護支援専門員》

- ・心不全重症化予防の栄養の研修を受け、とても勉強になりました。心臓の負担を減らすため水分・塩分制限・服薬などの自己管理の大切さを改めて知ることができました。実際、水分・塩分制限をすることは難しいと感じますが徐々に行っていくことが大切だと思いました。動悸や息切れなど心不全で出てくる症状が少し緩和することで心臓の負担軽減にもつながると思います。心不全ポイントは本人の状況を点数化し、受診のタイミングの必要な時期を知ることができることと、日々の本人の状況がわかるので、使い方によってはとても役に立つと思いました。事例を通して点数をつけたときに判断に迷うところもあったので、実際に試してみても初めてわかることが多かったです。でもこの用紙が心不全の方にとって安心して自宅での生活ができるものもあると痛感しました。
- ・心不全以外でも受診のタイミングが難しいなと感じることがあり、心不全以外の病気にもこのようなわかりやすいポイントがあれば助かります。
- ・家族の方で水分制限、塩分制限、食事制限をしてかわいそう・・・高齢だし好きなものをたべさせてあげたい。本人も隠れるようにしていろいろと食べて入退院を繰り返しています。入院して体重が減ると「やせてしまってかわいそう」と家族への助言に苦慮しています。
- ・心不全の悪化傾向の担当利用者としてそれを理由でショートステイの利用を断られた。主治医に相談すると主治医としては介護施設でも生活できる状態と言われたが施設の看護師からは受け入れ出来ないと言われたことがあったが、施設では食事、水分等の管理は難しいのかなど感じました。

《福祉用具専門職》

- ・大変勉強になりました。今後に生かしていこうと思います。ありがとうございました。

《事務》

- ・心不全ポイント自己管理用紙のつけ方が難しかった項目があった。(安静時、息切れ、息苦しさ)自分が直接関わる内容でなくとも今どうということが問題となっているか、何がこれからの課題なのか等地域の現状を知ることができる貴重な機会だと思います。このような研修会への参加の機会を頂きありがとうございました。

《その他》

- ・特別養護老人ホームとして常に医師が常勤していないので不安があるが、急変時は看護師と連携をとっている。管理記録用紙では脈拍、安静時の息切れ、息苦しさの点数が高いので注意していきたい。
- ・利用者様の方ですが、息苦しさや肩の痛み、両足の浮腫が診られ最近では水分を欲しがるようになり、心配しています。どんな病気が潜んでいるか又急変時の対処の仕方はどうすれば良いのか？(特に夜間時)
- ・心不全には様々なアプローチが必要で、自己管理が重要となるためご本人やご家族が気をつけなければならぬのだと知りました。またフレイルは心不全の進行をはやめることを知り、予防の段階でできることがたくさんあって生かしていく事が重要だと思った。心不全ノートがあることで多職種連携がしやすいメリットと、ご本人がつけられる状態にないと活用できないデメリットがありメリットを生かし使用できたらとてもいいものだと感じた。
- ・現在の業務では直接的、継続的に心不全の利用者に関わることは少ないと考えます。研修を通じ、心不全の知識を深める、理解し準備しておくことで今後の利用者支援につなげていきたいです。心不全も含めた体調悪化(変化)は、認知症症状の進行、悪化の要因にもなり得るので疾患についての学びは続けます。心不全ポイント練習問題は難しかった。